

いずも

IZUMO

つながる
ひろがる
ささえあう

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会

vol.149

11月・12月号

令和5年12月20日発行



特集

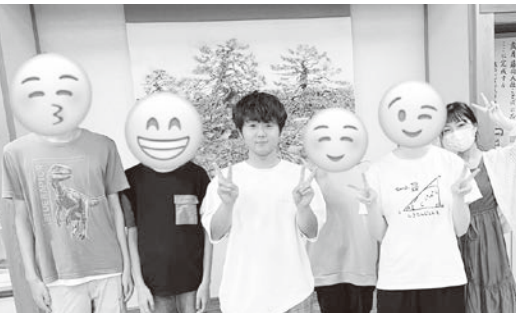
いまだから
できることを

TOPIC!

- 地域の福祉活動をご紹介します
- お知らせ・募集 職員採用試験
ふれあいサロン研修会
〈第2回〉たすけあい活動の勉強会
歳末たすけあい運動
- 災害義援金のお知らせ
- ご寄附ありがとうございます
- 子どもの遊び場に対する助成
- いずりんレポート 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練・
出雲市立中部小学校・福祉教育用品寄贈
- ご縁レシピ 再仕込醤油でつくる!濃厚みたらし飴
- 年末年始休業のお知らせ

いまだから

できることを



(画像を一部加工しています)



つき はし
月橋 佑音 さん
ゆう と

Profile

ボランティア団体「てごほ〜む」代表。
島根大学医学部4年生

小学生、中学生、高校生に無料の学習スペースを開いているボランティア団体「てごほ〜む」。学校や家以外の子どもたちの居場所をつくりたいという思いから、令和元年に当時島根大学医学部の学生であった足立元さんが「てごほ〜む」を立ち上げました。立ち上げから5年経ち、現在代表を務める月橋さんにお話を伺いました。

子どもたちの身近な存在

「てごほ〜む」は毎週土曜日、塩冶神社を会場に活動を行っています。対面での学習支援だけでなくビデオ会議ツールを活用しオンラインでも学習できる場を設けています。子どもたちはそれぞれ参加しやすい方法で集まり、勉強したり休憩したりしながらリラックスした時間を過ごしています。月橋さんはこの活動について「塾のように指導するのではなく、勉強って楽しい!と思うてもらえるようなきっかけづくりを心掛けています。一緒に解き方を考えたり、クイズ形式で問題を出したり、一人ひとりの学習のお手伝いをさせてもらっています。子どもたちが『わかった!』と喜んでくれるとこっちも嬉しくなりますね」と話します。休憩時間には外遊びやアナログゲームなど子どもたちと

楽しむ時間も取り入れているそうで「盛り上がりすぎて遊ぶ時間が増えてしまうこともよくあります。でもこの時間に子どもたちと会話をすることで仲良くなるきっかけになるので、なくてはならない時間ですね」と話します。時には学校生活や進路の相談を受けることもあるそうで、自分の経験を伝えたり一緒に考えたりしながら子どもたちを導いています。親でも先生でもない地域のお兄さんお姉さんとして寄り添い、子どもたちの心強い存在となっています。

地域に広がる居場所として

令和元年の発足当時は、対面での学習スペースとして活動をしていました。しかし、コロナ禍となりオンラインでの活動に方向転換させました。「オンライン会議ツールを使用した学習方法に初めは苦戦していましたが、活動が続いていくうちに子どもたちの参加も少しずつ増えていきましたね」と当時を振り返りながら話します。子どもたちの中には対面が苦手な子や市外に住んでいる子もいたそうで、幅広いニーズに応えることができ、参加者が増えていったきっかけの一つになりました。「関東から参加したい子がいたときはびっくりしましたね。

場所を問わず「てごほ〜む」を必要としている子どもたちに参加してもらえるオンラインの居場所も必要なんだと実感しています」と話します。

また活動がメディアの目に留まり「てごほ〜む」の存在を知ってもらう機会がさらに増えていったそうです。地元の大学生が頑張っている姿を見た塩治神社の方からは「よければ場所を使いませんか」という嬉しい声もありました。この縁から塩治神社を会場とした対面やオンラインの学習スペースとしてスタートすることに。場所を借りるだけでなく、神社の祭事やボランティアなどがあればメンバーが参加してお互いに協力し合いながら活動に取り組んでいます。「身近に協力してくれる方がいるのはとても心強いです。塩治神社の方はオンラインの機材などに詳しくて居場所として最高の環境です。地域の方々からの応援は活動の大きな支えになりますね」と語ります。

これからも続く活動へ

立ち上げから5年目を迎える「てごほ〜む」。この5年間でたくさん子どもたちが参加してきました。子どもたちからは「勉強がわかるよ

うになって嬉しい!」「一緒に遊ぶ時間が楽しみ!」など笑顔や喜びの声で溢れています。月橋さんは「休憩時間に焼き芋やクリスマス会など新しい取組にも挑戦していきたいです。メンバーや子どもたちのやってみたい!という声に応えながら一緒に居場所を作っていきたいですね」とこれからの活動に思いを馳せます。「先輩たちが築いてきた想いをつなぎながらこれからも地域とともに活動を続けていきたいです」と思いを語る月橋さん。子どもたちの大切な居場所としてこれからも活動は続いていきます。

「てごほ〜む」の参加者を募集しています!

毎週土曜日

10時から12時
14時から16時

対面・オンライン開催

詳しくはLINEにて紹介しています。



活動の様子はInstagramをご覧ください。



皆様のご参加を心よりお待ちしております😊



地域の福祉活動を紹介します

市内の福祉団体や地区社会福祉協議会の活動に対して出雲市社会福祉協議会は助成を行っています。また、活動のご相談や情報提供を行っています。

Q いくつかの団体に助成しているの？

A 今年度は市内の18の福祉団体と、すべての地区社会福祉協議会（42団体）に助成しています。

Q なにが財源になっているの？

A 皆さまからいただいた会費や香典返し等の寄附と赤い羽根共同募金からの助成金を活用しています。

Q どんな活動に使われているの？

地域の特性に合わせた福祉活動に役立てられています。

* 高齢者への見守り声かけ活動や認知症研修会

* 障がいのある方を正しく理解してもらうための研修会や交流会

* 子どもの遊び場の整備や子育てサロン、世代間交流、子どもの居場所づくり

* ボランティアの発掘及び育成のための研修会

* 地区社協だより等の広報紙の発行

* ごみ出しや電球の交換などの生活応援活動 など



誰もが参加できるまちへ

インクルーシブなまちをめざす
縁JOYの会

医療的ケアや障がいがある方の文化・芸術への参加など余暇が充実する活動や外出しやすい環境づくりを行っています。今年度はプラネタリウムの上映会と音楽鑑賞会を実施しました。参加者からは、「たくさんの星に囲まれ非日常的な体験ができてよかった」などたくさんの感想が寄せられました。



音楽鑑賞会



プラネタリウム上映会

出雲市が障がいなどの有無にかかわらず、誰もが暮らしやすいインクルーシブなまちとなることをめざして、参加しやすい環境を整え、相互の交流や活動に取り組んでいます。



制服譲渡会

杵築地区

杵築地区では、大社小学校・大社中学校の制服や体操服などを集め、無償でお渡しする制服譲渡会を開催しました。チラシなどを見た来場者で開始前から長蛇の列ができ、当日は大盛況となりました。

受け取られた方々からは子どもは成長すると制服や体操服のサイズが合わなくなり、新品で買うと高いので、このような譲渡会があると家計が助かりますと感謝の言葉がありました。保護者の皆さんの負担が少しでも軽減できるような今後も継続して取り組んでいきます。



とても助かります
ありがとうございます
ございました！



認知症高齢者声かけ訓練

大津地区

大津地区では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めています。この訓練では、ピンクの傘と緑のエプロンをかけた認知症の方が大津地区内を歩き、見かけた方に声をかけてもらいました。

多くの住民の方が参加され、「どこへ行かれますか?」「どうされましたか?」など声かけをされました。参加者からは「不安そうに歩いている高齢者の方がいたら声をかけてみようと思う」と話され、認知症の方への理解が広がっていく活動となりました。



子ども食堂

塩冶地区・伊波野地区

塩冶地区では子どもからお年寄りまで地域の誰もが参加できる居場所のひとつとして、今年度「塩冶みんなの子ども食堂」をオープン。毎月たくさんの方が来場し、住民同士が食を通じてつながる場となっています。子どもたちからは「おいしいーまた来たいー」などの感想がありました。

伊波野地区では地域の子どもたちがわいわい楽しく食事ができる場として「おたま食堂」が開催されました。食堂の野菜ソムリエの方が作るレシピに子どもたちも大満足。また、中高校生のボランティアと一緒に遊んだり勉強する特別企画など新たな活動にも取り組んでいます。



塩冶みんなの子ども食堂



伊波野おたま食堂





ふれあいサロン研修会

地域での健康づくりや交流、支え合いの場となるふれあいサロンの研修会を開催します。

- 日時: 2月21日(水) 13:00~15:45
- 会場: 朱鷺会館(出雲市西新町2丁目2456-4)
- テーマ: 「アフターコロナにおけるサロン活動」
講師 出雲保健所 所長 村下 伯氏
- 参加対象者: ふれあいサロン活動に興味のある方
- 定員: 70人(先着順) ■ 参加費: 無料
- 申込方法: 2月8日(木)までに、①氏名②電話番号をご記入のうえ、メールまたはFAXでお申し込みください。

問合せ・申込先 地域福祉課 ☎ 23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込みの際は件名に、「ふれあいサロン研修会」を明記してください。



職員採用試験

- 令和6年4月1日採用予定の採用試験を行います。
- 職種: 事務職員(正規職員)
 - 人数: 若干名
 - 募集資格: 昭和63年4月2日以降に生まれた方で
社会福祉士・精神保健福祉士・保健師
のいずれかの資格を有する方
(来春取得見込可)
 - 募集期間: 令和6年1月12日(金)まで ※必着
 - 試験: 令和6年1月28日(日) 10:00~
会場: 出雲市社会福祉センター
詳しくは、本会ホームページの募集要項をご確認ください

問合せ先 総務課 ☎ 23-3781 (担当: 石飛、赤木)



〈第2回〉たすけあい活動の勉強会

困ったときはお互い様。ちょっとした生活の困りごとを手助けする、たすけあい活動を始めるにあたっての基礎を学びます。

- 日時: 2月14日(水) 13:30~16:00
- 場所: 出雲市社会福祉センター 42号室(出雲市今市町543)
- 参加費: 無料
- 定員: 30名(先着順)

■ 内容: たすけあい活動についてのお話、団体紹介など。ホームページに掲載していますのでご確認ください。

■ 申込方法: 2月7日(水)までに①氏名②電話番号③希望動機を下記までご連絡ください。

問合せ・申込先 地域福祉課 ☎ 23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込の際は、件名に「たすけあい活動の勉強会」を明記してください。



歳末たすけあい運動

歳末たすけあい運動は、赤い羽根共同募金運動のひとつとして毎年12月に実施されています。皆さまから寄せられた募金は、出雲市内の高齢者や障がい者、子どもたちなど支援を必要とする方があたたかいお正月を迎えられるように、家屋の小修繕やあったか訪問等の事業に活用されています。



災害義援金・海外救援金のお知らせ

名称	送金額(11月30日現在)	受付期間
令和5年6月30日からの大雨災害義援金 ※現在の配分先: 山口県	これまでの送金額 51,784円	令和5年12月29日まで
令和5年7月7日からの大雨災害義援金 ※現在の配分先: 福岡県、佐賀県、石川県	これまでの送金額 20,000円	令和6年3月29日まで
令和5年台風第6号災害義援金 ※現在の配分先: 沖縄県	最終送金累計額 120円	受付終了
令和5年台風第13号災害義援金 ※現在の配分先: 茨城県、福島県、千葉県	これまでの送金額 0円	令和5年12月31日まで
バングラデシュ南部避難民救援金	これまでの送金額 6,000円	令和6年3月31日まで
ウクライナ人道危機救援金	これまでの送金額 2,507,960円	令和6年3月31日まで
アフガニスタン人道危機救援金	これまでの送金額 5,000円	令和6年3月31日まで
2023年モロッコ地震救援金	最終送金累計額 1,000円	受付終了
2023年リビア洪水救援金	最終送金累計額 1,000円	受付終了

問合せ先/日本赤十字社島根県支部 出雲市地区(事務局:出雲市社会福祉協議会本所・各支所)



ご寄附 ありがとうございます

令和5年9月11日～令和5年11月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄附

<団体>

浄土真宗本願寺派出雲南組
縁結び歌謡会 15周年記念歌謡祭

香典・玉串料・お花料等返し

()内は故人

<出雲>

今市町 柳樂 佳郎(得郎)
今市町 桑原 佳世(明夫)
大津町 加村 真寿美(良昭)
上塩冶町 吉田 隆司(春江)
塩冶町 杉原 多二雄(不二子)
天神町 川本 佳代(梶谷 和正)
塩冶神前 板垣 俊幸(麗子)
古志町 伊藤 靖(碩)
高松町 天野 剛(悟)
白枝町 原田 順子(恭平)
白枝町 若林 恒子(幸雄)
松寄下町 進藤 勇(澄江)
松寄下町 吉廻 毅(浩子)
浜 町 井上 祐司(ハル子)
矢野町 遠藤 智哉(眞二)
八島町 原 ゆり子(昭)
武志町 鶴原 直樹(シズ子)
高岡町 郷原 正治(昭治)
稗原町 太田 康晴(芳江)
稗原町 川上 昇(正和)

馬木北町 吉田 真(良美)

<平田>

平田町 小村 和久(政子)
平田町 長谷川 ヒデ子(惣市)
平田町 新宮 直行(健一)
平田町 原 聡(美紀子)
西平田町 西尾 浩二(清枝)
灘分町 佐藤 紀章(勝次)
島村町 山根 利之(昇)
万田町 清水 俊宏(芳子)
奥宇賀町 上田 慎也(克美)
奥宇賀町 高橋 晃太(晴夫)
河下町 原 英俊(勉)
東福町 伊藤 貴(正)
東福町 西尾 雄治(成治)
久多見町 森脇 秀治(米子)
久多見町 土江 清司(義憲)
野石谷町 河瀬 明義(乃美子)
岡田町 長岡 真広(弘巳)
多久町 清水 幸二(一二三)
園 町 坂本 浩(武)
園 町 福田 和夫(玲子)
園 町 勝田 善則(さと江)
園 町 橋本 裕治(寿繁)
鹿園寺町 立石 邦夫(安栄)
鹿園寺町 吾郷 恒夫(ミエ子)
小境町 荒木 徳(利朗)
十六島町 山根 かおり(辰夫)
小伊津町 梶谷 光男(文枝)

<佐田>

大 呂 佐貫 榮(ミエ子)
一窪田 田中 典子(雄治)
毛 津 園山 正(真吾)

<多伎>

小 田 石飛 渉(章)
小 田 三ヶ尻 薫(英一)
多 岐 伊藤 正己(勇)
多 岐 伊藤 孝雄(幸夫)
多 岐 山本 和男(トミエ)

<湖陵>

常楽寺 藤原 正信(文子)
常楽寺 今岡 康治(春枝)
大 池 園山 正枝(育生)
差 海 梶谷 裕子(原 テリ)
差 海 大野 美喜子(浩治)

<大社>

入 南 長岡 竹子(良三)
入 南 泉 あや子(貞輝)
菱 根 森山 修治(勝彦)
中荒木 北脇 恒司(莊一)
中荒木 中山 義治(八重子)
杵築東 大國 博史(喜幹)
杵築西 北井 健治(房子)
杵築北 吉田 育子(善夫)
杵築北 春日 卓(利八)

日御碕 伊藤 克彦(幸子)
宇 龍 阿部 真(武吉)

<斐川>

学 頭 穴道 年弘(イマ子)
莊 原 中島 実(鈴子)
莊 原 曾田 剛文(昭夫)
莊 原 高木 幹雄(美智枝)
神 庭 小松原 雄一(茂)
上庄原 和田守 光雄(操)
併 川 山根 陽一(アヤ子)
上直江 山根 慎平(房子)
直 江 上野 正夫(鏡)
直 江 川島 健二(英子)
美 南 高田 栄子(広満)
美 南 角 信幸(文雄)
今在家 渡部 剛史(茂)
坂 田 勝部 幸男(君子)

匿名

11件

ご寄贈

<出雲>

大津町 加村 真寿美

<団体>

出雲西地区郵便局長夫人会
出雲第三部会
公益社団法人出雲法人会
会長 高橋 英一

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

[1] 所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

[2] 住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

[1] + [2] = 24,000円・・・税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載していません。ご了承ください。



子どもの遊び場に対する助成

子どもが安心して遊べる環境づくりのため、遊具（健康遊具を含む）などの新設や補修にかかる費用の一部を地区社会福祉協議会へ助成します。

（皆様からご協力いただいた会費、寄附金、赤い羽根共同募金を活用しています。）



助成金額 遊び場の新設または補修
1地区上限16万円（8割助成）

▼下記のいずれかに該当する場合は助成対象としません。

- 行政機関、営利を目的とする団体、個人が設置あるいは管理する遊園地（町内などで管理している遊園地が対象です）
- 固定式でない遊具または設備
- 同一の助成申請内容で複数年にわたるもの

申し込み方法 令和6年1月12日（金）までに、お住まいの地域の地区社会福祉協議会にご連絡ください。

地域に広がる福祉



福祉教育用品寄贈

出雲法人会様から子ども用高齢者疑似体験セットを寄贈いただきました。今後の福祉教育に活用していきます。

障がい学ぶ 点字体験



出雲市立中部小学校

養護（盲）老人ホームかなび園の職員の方から点字の打ち方を学び、利用者の方に実際に読んでもらいました。

もしもに備える



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生時に迅速に対応できるよう、被災を想定した運営訓練を実施しました。



いずみレポート

会費や共募を活用!



今回ご紹介するのは「みたらしあん」ですが、ポイントはお出雲ではおなじみの「再仕込醤油」を使用したことです。私には刺身醤油としてなじみ深かったのですが、学生時代のアルバイトで、県外のお客様様が「この甘いお醤油は何?！」と驚かれることがよくありました。気に入って買って帰られたり、話のネタにもなったり…。まさに色々な人とのご縁を繋いでくれたものです。今回はそんな再仕込醤油を「みたらし餡」としておやつに使用してみました。団子はもちろん、おもちやアイスクリームと一緒に食べるのもおすすめです！年末に近づき忙しくなる時期ですが、甘いものを食べて元気に頑張りましょう♪

食を通じて、人と人が笑顔で出会う

ご縁レシピ

再仕込醤油でつくる！濃厚みたらし餡

- 材料** (2~3人前)
- 再仕込み醤油(ほかのお醤油でももちろんOK) 大さじ2
 - 砂糖/大さじ3 ●みりん/大さじ1
 - 水/大さじ3 ●片栗粉/大さじ1

作り方

- ①お鍋に材料を全部入れ、鍋底からかき混ぜながら弱火で温める。
- ②お好みのとろみがつくまで続ける。
- ③お好きな食品にかけたら完成！



島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科の協力で作成しました。



島根県立大学 城市朱夏助手

年末年始の休業のお知らせ 12月29日(金)~1月3日(水)まで休業します。



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30~17:15

☎23-3781 (代表) FAX20-7733 (代表)

✉ fukushi@izumoshakyo.jp

ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

総務課・地域福祉課/☎23-3781 FAX20-7733

生活支援課/☎23-3790 FAX20-7733

いずも権利擁護センター/☎25-0955 FAX20-7733

平田支所/☎63-4624 FAX63-5011

佐田支所/☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所/☎86-2331 FAX86-2351

湖陵支所/☎43-2310 FAX43-2226

大社支所/☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所/☎73-9330 FAX72-4068



高齢者あんしん支援センター

出雲/☎25-0707 FAX25-0901

平田/☎63-8200 FAX63-5011

佐田/☎84-0019 FAX84-9034

多伎/☎86-7122 FAX86-2351

湖陵/☎43-7611 FAX43-2226

大社/☎53-3232 FAX53-6053

斐川/☎73-9125 FAX72-4068

